

ガーナのことを主観で話す
会

ガーナについて

- 西アフリカに位置する国（日本のほぼ真裏）
- 面積: 238,533 km²
- 人口: 約3,200万人
- 首都: アクラ
- 公用語: 英語（イギリス英語：center -> centre、color -> colour）
- 通貨: ガーナセディ (GHS) 1ガーナセディ = 約10円
- 主要輸出品: カカオ、金、木材
- 主要宗教: キリシト教、イスラム教、伝統宗教
- [ガーナ共和国概要 | 在ガーナ日本国大使館](#)

経路

- 成田（日本） - 仁川（韓国） - アジスアベバ（エチオピア） - アクラ（ガーナ）
- アクラ（ガーナ） - ロンドン（イギリス） - 成田（日本）
- 羽田（日本） - ドーハ（カタール） - アクラ（ガーナ）

JAL便がよかった

経済・

- 2022年12月、事実上のデフォルト（債務不履行）
- 物価：国産のものは安い、輸入品は高い（スーパーで売ってるものの多くが輸入品）
- 治安: 比較的安全（アフリカの他の国だと少しの外出が禁止されるところもあるとか）

環境

- 気候: 熱帯性気候
 - 雨季: 4月～10月
 - 乾季: 11月～3月
 - 2月～4月が最も暑く8月が最も涼しい
- 自然: サバンナ、熱帯雨林、海岸線

交通

- 道路: アクラを中心に整備されている
- 鉄道: アクラとテマを結ぶ路線がある
- 空港: コトカ国際空港（アクラ）
- 港: テマ港、アクラ港
- 公共交通: バス、タクシー、オートバイタクシー

交通（車）

- 車の運転: 右側通行
- 車両: 日本車、韓国車、中国車が多い
- 道路状況: 良好な部分と悪路が混在
- 交通ルール: 信号機が少ない、優先道路が不明確、入れるところに入るスタイル

教育

- 教育制度: 6-3-3制
- 教育年齢: 6歳から15歳まで義務教育
- 教育機関: 小学校、中学校、高校、大学
- 大学: アクラ大学、ケペ国立大学、ガーナ工科大学
- [ガーナにおける教育制度の概要 | 海外展開のヒント集 | 日本型教育の海外展開 \(EDU-Portニッポン\)](#)

生活・人々

- 割と温厚で静かな印象、お店でも大声で話す人はいない
- サッカーが人気
- 生活レベルの差は大きい
- スーパーで自撮りしている人がたくさんいる

雑感を話します